

コースNo.
50006

豊田支店限定企画

名鉄観光バス

愛知で日本の伝統文化に出会う

『尾張徳川家のお雛様』

名古屋城桜まつりと徳川美術館

七宝焼きアートヴィレッジ



尾張七宝『七宝焼き体験』

嬉しい♪スタンプ2個!

■■ご旅行日■■ 2020年 4月3日(金) 特別企画展

□□ご旅行代金□□【御昼食付】

¥9,980

◆ご集合◆

名鉄梅坪駅8:25/名鉄トヨタホテル8:40/名鉄土橋駅9:00

*行程は道路状況・混雑により変更になる場合がございます。予めご了承をお願いします。

◆行程◆

【貸切バス会社名:名鉄観光バス】

名鉄梅坪駅---名鉄トヨタホテル前---名鉄土橋駅---
8:25集合/8:35出発 8:40集合/8:50出発 9:00集合/9:10出発

七宝焼アートヴィレッジ(見学・七宝焼体験)-----

日本料理大森(昼食)・名古屋城・金シャチ横丁(入場・散策)

---徳川美術館・逢佐文庫・徳川園(ご見学)---

名鉄土橋駅---名鉄トヨタホテル---名鉄梅坪駅

17:20頃 17:50頃 18:15頃

* 開花状況等により、桜まつりの日程が変更となる場合もございます。
桜まつりが開催されない場合でも、名古屋城通常見学させていただきます。



徳川美術館特別展 雛まつりイメージ



名古屋城桜開花時 イメージ



七宝焼アートヴィレッジ 外観 イメージ



七宝焼アートヴィレッジ 展示物 イメージ

体験作品 イメージ

愛知伝統文化と尾張徳川家を知る・体験する

●七宝焼アートヴィレッジ(七宝焼体験付)

「尾張七宝」として国の伝統工芸品として指定されてます。また、天皇皇后両陛下の初の地方公務として愛知県を訪れた際に「七宝焼アートヴィレッジ」をご訪問されまして伝統文化に触れられましたことは有名です。今回は事前にお選びいただきましたデザインに七宝の釉薬をのせていただける初心者でも簡単に出来、思い出深い1品となりことでしょう...

●徳川美術館・逢佐文庫・徳川園(入場券付)

尾張徳川家代々1万2千点もの素晴らしい家宝コレクションは必見! 特別展では尾張徳川家の姫君の為にあつらえられた雛人形や雛道具が伝来しており大雛段飾りは圧巻! 隣接いたします徳川園は尾張徳川家の邸宅跡地造営された池泉回遊式の日本庭園で四季の植物も見事です。



マイカーでお越しのお客様
駐車場のご案内

★名鉄梅坪駅

※名鉄協商パーキングの梅坪Pが1台1日700円のところ300円の負担でご利用いただけます。
※ただし、ご予約は承れません。

旅行企画・実施



名鉄観光バス

(一社)日本旅行業協会会員 観光庁長官登録旅行業 第1857号
〒471-0025 豊田市西町1-200とよた参合館1階
総合旅行業取扱管理者 原田 透

<取消日:旅行開始日の前日から起算・取消料:旅行代金に対する料率>

国内宿泊・入	出発の20日前から8日前まで:20%	出発の7日前から2日前まで:30%	出発の前日:40%	出発の当日:50%	旅行開始後:全額
国内日帰り・入	出発の10日前から8日前まで:20%	出発の7日前から2日前まで:30%	出発の前日:40%	出発の当日:50%	旅行開始後:全額

<バス座席のご案内>バス座席は当社にお任せいただけます。

※10名様以上のグループ様は、後方席をお願いさせて頂く場合がございます。
また、奇数人数でお申し込みのお客様は相席になる場合がございます。尚、宿泊コースの2日目以降の座席の入れ替えは致しません。あらかじめご了承下さい。

※乗車名簿作成の為、参加者全員の氏名・年齢をお伺いします。

お問い合わせ・お申し込みは

豊田支店 TEL0565-35-3388

営業時間:平日10:00-18:00 ※土曜・日曜・祝日は定休日です

※このツアーのお申し込みは名鉄観光バス(株)豊田支店のみとなります。

あま市 七宝焼きアートヴィレッジ 体験教室 90分コース

お申込みの際に、体験を希望する作品をお選びいただけます。

制作時間は30分程度～となります。

作品は、当日、お持ち帰りできます。



ピューマのブローチ

みみずくのブローチ

木の葉のブローチ

蝶のブローチ

犬のブローチ



猫のブローチ

しずくのペンダント

ハートのペンダント

鯛の箸置き・箸置き

カレイの箸置き



爪きり

スプーン・フォーク

インナークリップ

ピンバッチ

七宝焼きとは、銅・銀などの金属素地に色とりどりのガラス質の釉薬を盛り750℃～950℃で焼きつけて装飾する工芸品です。釉薬の乗せ具合・焼きつける温度などにより同じものはできないと言われてています。世界でただ一つのオリジナルな七宝焼き作りを体験してみませんか？

七宝焼きの作り方

1. 七宝釉薬(七宝焼の絵の具 粉状)をのせ分ける方法



それぞれ、色の違う部分に釉薬をのせ分けています。重ねることや、釉薬を混ぜて使うことはできません。

2. フリット(粒状の七宝釉薬)を使って模様をつくる方法



フリットを使う場合、ベースとなる粉の釉薬を必ず乗せます。フリットには、大中小のサイズがあります。大中は、焼くと2倍から3倍の大きさになりますので選ぶときには注意が必要です。小は、あまり大きさは変わりません。

素地に彫刻のあるタイプのものは、不透明釉薬やフリットを使うと彫刻が見えなくなりますので、使用には注意が必要です。